

あいこも新聞

第2号

2010年7月

e-mail: aiyama-jimu@miyagifukusikai.or.jp

宮城福祉会 共生型グループホーム
あいやまこもれびの家
村田町大字村田字相山100-5
0224-82-2366

利用状況(7/1)			
	定員	現在の利用者	待機者
認知	9名	9名	0名
障害	5名	2名	0名

お気軽にお問い合わせを!

ごあいさつ



梅雨の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、施設運営にご理解、ご支援を頂きましてありがとうございます。私は、名取市にありますが、名取市グループホームこもれびの家より此の度異動となり4月よりあいやまに勤務させていただいております白地 晃(しらち あきら)と申します。

あいやまに勤務させていただき、3か月が過ぎようとしておりますが、まず4月の赴任時に印象的でしたのは、あたり一面の桜の花、本当に華やかで見事な景色です。

これから、この素晴らしい環境の中で利用者様の「その人らしさ」を大切にして、利用者様本位の適切な介護サービスを提供し、楽しい時間、こころ豊かな生活と笑顔が少しでも増えていくようスタッフと努力していきたいと考えておりますので、利用者様とご家族様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

梅雨の時期も終わり暑さの厳しい季節がやってまいります。利用者様とご家族様には健康に充分留意されますよう、ご健勝を祈念申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。

社会福祉法人宮城福祉会 あいやまこもれびの家 所長 白地 晃

七夕まつり

7月8日(木)



今年の七夕は、みーさん達から聞いた村田の子供の頃の七夕を再現してみました。

『外の七夕飾りの下にみんなで集まってね、夕ご飯を食べるんだよ。ただの麦めしだったけど、とっても美味しく感じたねえ。そして、次の日、七夕飾りを大根畑にさすんだよ。「大根、大きくなりますように」ってね。』

そんな話、聞いたこともねえ...



なんだそれ?

という方もいましたが(笑)、外にテーブルを出して、みんなで作ったごちそうを楽しく食べました。

その後、あいこもの畑に七夕飾りをさし、村田出身の職員も知らなかった「七夕の儀式」をみんなで楽しみました。

みんなの、短冊の願い事が、どうか叶いますように.....

もし無理なら、私のだけでも...



あいこもの、こだわり お誕生会



甘さもちょうどいいね！



今日もようずに

焼きました！



赤間さん

「あいこも」では、ささやかですが、1人ひとりの誕生日を全員でお祝いしています。

「こだわりその1」は、誕生日の当日に行う事。「こだわりその2」はみんなで作った手作りケーキでお祝いする事です。

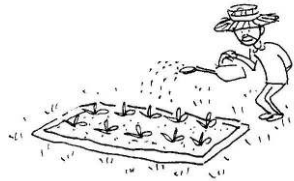
「あいこも」のパティシエこと「赤間さん」自慢の、ふかふかスポンジが焼き上が

ると、みんなで、生クリームを塗り、果物やチョコレートでかざりつけ、完成です。誕生日の日は、昼間仕事に行っているあっちゃんといーくんも、「私の分もとっておいてくださいね！」と、帰宅後のケーキを楽しみにして出掛けていきます。



7月はふーさんと、みーさんが3日違いでお誕生日。旦那さんもサプライズでお呼びして、びっくりのみーさん、「年をとるのはイヤだけど、いくつになっても誕生会はうれしいねえ〜」と、ニコニコでした。

農園だより



今年も、夏野菜の収穫の時期がやってきました。天候のせいなんでしょうか、それとも水やりをさぼってるせいなんでしょうか…。今年の出来はイマイチです。

職員で、畑仕事に詳しいものが誰もいないので、みなさんに聞きながら(怒られながら)なんとかやっています。面会に来られたご家族さんも、「トマトは、こうしたほうがいいよ」

等とアドバイスをさせていただきます。これからもご指導宜しくお願いします。

よーし！ 草取りの計画
たてるぞお〜！！

ほだごど言ってる間に
一本でもぬけ！

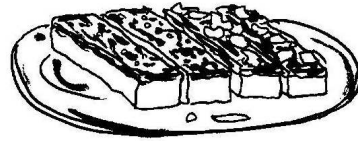
あいこも一坪農園 今年の出来具合			
トマト	○	きゅうり	○
ねぎ	○	しそ	○
セロリ	△	なす	×
ピーマン	×	ささぎ	○
ほうれん草	○	かぼちゃ	○
ビタミン菜	○	雑草	◎

きゅうりの漬物や、しその味噌汁などが、最近のあいこもの食卓を飾ってくれています。



地域交流行事

「がんずき作り教室」(7/3)



くるみと、ゴマです。



前回の「パン作り」も大好評でしたが、「パンこねるのに、思いのほか体力使ってつかれたわあ〜」という声に応えて、今回は、「気軽にがんずき作り」です。

ようさんの奥さんに先生をお願いし、優しく楽しく教えていただきました。今回も、後田地区の町内会の方を中心に5名のみなさんにご参加いただきました。

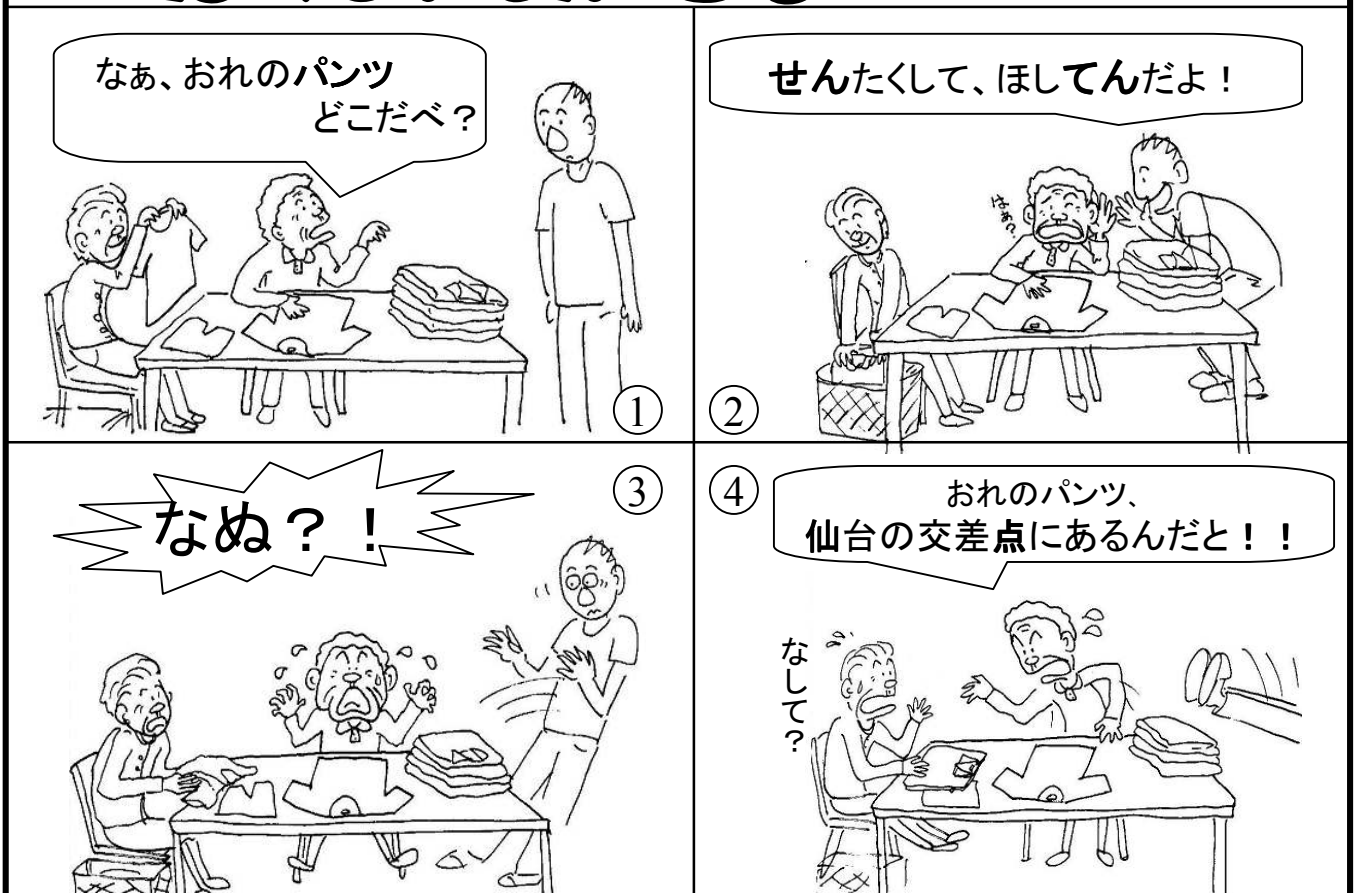
「家で作れるって聞いていたから一度ぜひ教えてもらいたかった」という参加者の皆さん。出来上がった「がんずき」でお茶を飲みながら、「これはおいしいし、簡単だね。家でも気軽に作れるわ!」とよろこんでいらっしやいました。

あいこものおばあちゃん達も、作りたてのがんずきをいただき、「くるみの香りがいいなあ」と大喜びでした。ようさんの奥さん、ありがとうございました!

次回は、また体力勝負! 「うどん作り」です。8月4日(10:00~)に行います。参加ご希望の方はどなたでも、ホームまでご連絡ください! お待ちしてまーす!

たのしいあいこも

「そんなバカな…」
リリーフランキーササキ 作



認知症コラム

認知症になると、なぜ

家族の顔がわからなくなるのか？



原因は色々ありますが、多いのは「本人が実際の年齢よりも若くなっている」ということです。例えば、実際は85歳の方が、自分では「私はまだ60歳」とか、はたまた「まだ25歳。」と思い込んでいる場合もあるのです。

それを「実年齢」に対して、「認知年齢」と呼びます。

本人は25歳のつもりなので、当然「私はまだ結婚したばかり。子供はまだ、3歳。」と思い込んでいても不思議ではありません。

というわけで、60歳の息子が、「お母さん！」と、会いに来て、わからないのです。

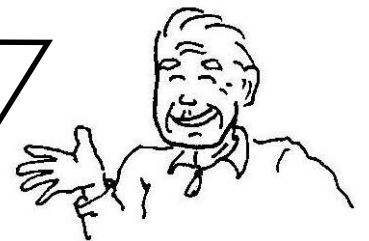
でも、誰かははっきりわからないけれど「自分にとって身近な大切な人」というのは、やはり感じてらっしゃいます。それで、息子さんの事を、「私の兄です」とか「父親です」と言ったりする事もあるのです。認知症も軽度のうちは、話しているうちに思い出したりもしますが、重度の方に対しては、ご家族がその時の状況によって「お兄さん」を演じたり「お父さん」を演じることが、ご本人を安心させる事になる場合が多いです。

あいやまのおばあちゃん、
おじいちゃんに聞く…

村
田
む
か
し
む
か
し

おれ達の頃は、給食なんてなかったからなあ。毎日、麦めしの日の丸弁当で、冷めると固くてわがんねえがら、冬はストーブの前さ弁当並べてあっためて食べたもんだ。でも、中には女中さんにあったかい豪華な弁当を毎日届けられる金持ちもいてなあ。うらやましかったなあ。たまに、弁当忘れっと、先生が自分の弁当食わせでけだんだ。玉子焼きとか鮭が入ってて、うまくてうまくて。明日もわざと弁当忘れっかと思っただけだったやあ。

今回は、
「お弁当の話」
です



お世話になってます！



記念すべき第一回は、
高橋八百屋の若旦那
じゅんさん

いつも、新鮮な食材をフットワーク軽く届けていただき、感謝しております。二児のパパとは思えない若さ溢れるじゅんさん、あいこにも、隠れファンがいるようです。これからも宜しくお願いします！

編集後記



数日前、今年初めてのヒグラシのなきごえを聞きました。あの「カナカナカナ……」を聞くと、妙にもの悲しくなってしまうのはなぜでしょうか？根っからロマンチストの私は、その度、涙ぐんでしまいます……（うそです）。夏は、ほかに、花火やホタル、風鈴、蚊取り線香のにおいなど、なぜか哀愁漂うものが多いですね。これからの季節、ビールを飲みながら、ヒグラシの音で哀愁に浸るのが私の楽しみです。

…最近ノンアルコールビールでも酔えるようになりました…。ではまた次号……。 (T. SASAKI)